

今年も4月27日・28日の2日間、附属校新任教諭APU研修が実施され、この4月から各附属校に着任された新任の先生方がAPUを訪問しました。APU研修は、附属校の教員が自ら「児童・生徒に『APUの魅力』を語れるようになる」ことを目標とし、今回で10回目となります。

APU通信では、前々号よりリレー形式で『教員の視点から見たAPU』をお届けしており、今号が最終号となります。なお、2015年度APUオープンキャンパスが①7/20(祝月)、②8/2(日)、③11/1(日)に開催されます。オープンキャンパス専用ツアーも受付中です。

オープンキャンパスの申込・詳細は、[APU mate.net](http://www.apumate.net) で検索して、「イベント情報」のページをご覧ください。 [http://www.apumate.net/event\\_info/opencampus.html](http://www.apumate.net/event_info/opencampus.html)



# APU NEWS

立命館守山中学校  
藤田 翔平

## 今、APU が熱い！！

APU（立命館アジア太平洋大学）があらためて注目を集めている。

### ①日本国内において国際交流ができる！！

APU は日本で一番国際学生（外国人学生）が多い大学です。世界 75 カ国と地域から 2659 名の学生さんが学びに来ているのです。それってどれくらい多いかって??なんと学生の 46%が国際学生です。つまり生徒の半分は外国人なのです。キャンパス内を歩けば、たくさんの国際学生が！日本にいながら留学しているかのような環境に、日本中いや世界中の高校生が注目しています！なぜ、国際学生があるまるのか？APU の秘密①をチェックだ！！

### ②企業が注目する大学トップクラス！！

APU が開校して間もないころ、無名の大学として APU 生は就活に一苦労したそうです。しかし、現在は日本中の企業が注目する大学になりました。その証拠に、日本経済新聞の調べによると、企業が注目している大学トップ3位に！さらに PRESIDENT（プレジデント社）の調査でも**企業から評価の高い大学 1 位**にランクインしているのです！しかも、就職活動は企業の方から APU にわざわざ足を運んでくれる優遇さ。藤田が APU を訪れた日も、有名携帯会社の最終面接が APU 内で行われていた。なぜこんなにも人気なのか？APU の秘密②をチェックしよう！

以上のように APU は注目を集めているその秘密はいったい何なのか？ここで紹介しよう！

### APU の秘密①～日本では珍しい、授業が英語で行われている！！～

APU の授業は英語で行われています。間違っほしくないのが、英語の授業では無く、英語で授業なのです。**そう、APU は英語を学ぶ学校ではなく、英語で学問を学ぶ学校なのです。**世界で活躍するためのグローバルな人材を育てるために、学生のうちから英語に触れることが出来るのです。この取り組みは、日本人だけでなく、海外の学生にとってもメリットがあり、アジア圏を中心に入学希望をしてくる学生が増えている。

### APU の秘密②～グローバル人材が育つ～



・自分等は違う考え・文化を持つ人との協力する力・行動力・チャレンジする姿勢などが企業で評価されている点です。これらの力は APU という環境が育んだ能力です。なぜ、このような力が身につくのか？それは、授業から生活まですべてが**ピア・ラーニング**だからです。ピアとは仲間・友人という意味です。お互いに教え合うことによって学ぶという文化が APU には根付いているそうです。このピア・ラーニングによって専門的な知識を身につけるだけでなく、**異文化の人々とのコミュニケーションの取り方を自然に身につけられるのです。**このような学びができるのも日本では APU だけ！！意識の高い国際学生ときみたちも学びあわないか！？



# Imagination

立命館慶祥中学3年 学年通信

特別号 (APU 通信)

発行日 2015年5月9日

## APUを知ろう!



4月26~28日の日程で“南の立命館” APU (Asia Pacific University: アジア太平洋大学) へ研修に行ってきました。この研修は、学校法人立命館の教員として APU の理解をさらに深め、大学と附属校との連携をより具体的にすることを目的としてほぼ毎年実施されています。4年後の14期生の進路先にもなると思い、前回の訪問よりももっといろいろなことを具体的に想像しながら研修に行ってきました。

APU は、「自由・平和・ヒューマニズム」、「国際相互理解」、「アジア太平洋の未来創造」を基本理念として、大分市と学校法人立命館が協力する形で2000年4月1日に設立されました。学部は「環境・開発」「観光学」「国際関係」「文化・社会・メディア」などを学ぶアジア太平洋学部と高い倫理観を国際企業フィールドで発揮し、組織を構成する力をつける国際経営学部があります。

APU では学生たちが大きく成長すると国内外の企業から評価され、しばしばビジネス雑誌などでも紹介されています。即戦力となる人材を育てると、企業の方から説明会実施をさせて欲しいと、APU キャンパス内で企就職説明会や面接まで実施するケースも多くあります。私が研修を行った日も通信業界の大手 DoCoMo の最終面接が行われていました。APU で学生が成長できる環境とはいったい何なのでしょう?

それは“国内生”を取り巻く50% (世界75ヶ国、開校以来ではなんと130ヶ国) に及び“国際生”と外国籍教授陣です。もちろん国際生徒が多いことが単純に評価されることではありませんが、国際生が多いということは、キャンパスがバイリンガル環境であり、大学での講義も英語がメインとなります。また、APU の特色は言語環境のみならず、文化・思考などの多様性を日々学内生活を通し学ぶことできるグローバル社会の縮図です。そのような“日本離れ”した環境での大学生活を送り、高い語学力とグローバル感覚を有する即戦力が評価されているのです。

14期生 (と高校で合流する高校21期生おおよそ300名の中) から、この APU へ進学する人もいます。今後学年としても RU+OIC (立命館大学: 衣笠キャンパス、茨城キャンパス)、そして APU の魅力を発信して、大学理解、学部理解、さらには学部選択へと繋がればと思っています。

3学年主任 吉田 恒

### 【道内高校 2013~15 入学】

札幌西・札幌南・札幌藻岩・札幌清田  
小樽潮陵・岩見沢東・滝川・旭川北  
室蘭栄・帯広柏葉・帯広三条  
釧路北陽・釧路明輝・立命館慶祥  
藤女子・旭川藤女子・北星学園女子  
函館ラサール・室蘭大谷・駒澤大学附属苫小牧  
など



APU の魅力に惹かれる高校3年生が日本全国から入学しています。北海道からもみんなのよく知る高校から進学しています。先生の母校の名前も発見!

先生が自らインタビューした学生さんたち。インドネシアからの「国際生」と福岡出身の「国内生」4回生。「国際生」のほぼ全員がゼロから日本語を始めますが、4年後には驚くほど流暢に。彼らの多くが奨学金をさまざま獲得し、また維持するためにもとても勤勉です。高い目的意識と目標をもって大学選びを行って進学しています。「国内生」もそんな空気の中で刺激を受け、生き生きとスキル/キャリアアップを重ねています。

### ●安倍首相が評価する APU の魅力とは何か？

- 1, 異なる文化、習慣、価値観を持っている国際学生が半数を占める
- 2, 文科省推奨の「グローバル人材育成事業」に認定され大学全体がグローバリズムに包まれる
- 3, 「自由・平和・ヒューマニズム」、「国際相互理解」、「アジア太平洋の未来創造」を基本理念としている
- 4, 大学に企業の採用担当者を招いている。
- 5, 授業は日英 2 言語に対応している。
- 6, AP ハウスでは国内学生と国際学生がルームシェアをする。

### ●卒業生の声

左：久留間

右：中村

#### APU を考える後輩達へ APU 国際経営学部 1 回生 中村 惇

私が立命館アジア太平洋大学（以下 APU）に来て感じたことは、ここには良くも悪くもたくさんの刺激がある、ということです。私は入学してまだ 2 カ月弱ではありますが、早くも多くの刺激を受けています。そもそも私が APU に来ようと思った理由は、私には大きな夢があるからです。その夢を叶えるために私に必要なものは英語力とコミュニケーション能力、そして、その夢に近いアメリカの大学で学ぶこと、だと感じていました。そんな中、APU の提携校の中に、「ここで学びたい。成長したい。」と感じるアメリカの大学を見つけました。私はその大学で交換留学や編入などを経て学ぶためにも、まず APU で英語力を伸ばし、コミュニケーション能力をつけたいと感じました。APU で英語力伸ばすことはつまり、私にとってはそのアメリカの大学の交換留学の基準を超えるためにもつながっていたからです。こうして私は APU 入学を決めました。そして入学し、私が強く受けた刺激は大きく二つに分けることができます。



一つ目は「環境」から受けたものです。現在日本で、「グローバル化」という言葉が矢のように飛び交っている中、教員も学生も約半数が外国籍という大学は日本全国を見ても APU しかありません。実際、APU では AP ハウスでの日常生活、サークルや授業、ウィークなどの様々な活動、で国際学生を相手に英語を使えるチャンスは自分次第でいくらかでも作ることができます。しかしそれはつまり、誰もが英語を使えるので、英語が話せるというのは当たり前の条件で、英語を十分に使えた上で、プラス  $\alpha$  何ができて、何で勝負するのか、という環境であるということです。私は今、それに気づくことができたので、まずは自分がまだ完璧でない英語を極めようと、より意欲的になることができます。

二つ目は「その環境を生み出す『人』」から受けたものです。グローバル化が進んでいて、英語が勉強できるという大学は日本にも他に山ほどある中（国際教養大学や ICU など）、APU の良さは、アメリカやヨーロッパなどの先進国からの学生よりも東南アジアなどの発展途上国からの学生が圧倒的に多いことだと私は感じています。なぜなら発展途上国から先進国の日本の大学に来るということはつまり、その国を背負ってきていて、意識が高く、質の高い人間が集まっているということだからです。実際に話していても、国際学生・国内学生に関わらず様々なバックグラウンドを持った学生がいて、私は常に、周りの人間のレベルの高さや意識の高さ、考えの深さを感じる事ができています。そしてそれが私にとって良い刺激にもなっています。

このように、私はわずか 2 カ月で多くの刺激を受けていますが、それは自分がどこに目を向けてどう感じよう

とするか、によると思います。なぜかというとな実際に APU には良くない刺激もあると私は感じているからです。例えば、AP ハウスでの生活です。AP ハウスは国際学生と触れ合え、英語が使える、文化の違いについて理解し合える素晴らしい場所です。しかし AP ハウス生活には落とし穴もあります。国際学生にとっては合法なことが、私達にとっては不法なこともありますし、友達と夜遅くまで騒ぐことも簡単にできます。そして私が特に危ないと感じた点は、国際学生が半数近くいる APU といえども、日本語だけを使って生きていくこともできないことはないということです。なぜなら、逆に言えば半数は日本人であるので、逃げ場もたくさんあるからです。APU は私にとってとても優れた環境だと感じています。しかし同時に、環境だけが自分を成長させてくれるわけではないと感じることもできました。優れた環境を求めらるばかりではなく、まずは、自分は何がしたいのか、何のために APU を選ぶのかを明確に認識するなど、自分自身に矢印を向けることが一番大事だと思います。

APU に入学する人の誰もが、『英語をもっと使いたい、話せるようになりたい。』といった思いがあると思います。私は今もその一人です。しかし私は高校時代から、英語を特に意識していたわけでもなく、どちらかというとな苦手な教科でした。進路を決める際、『留学経験もないし、英語は苦手、なのに APU に行って大丈夫なのか。』と考える人は多いと思います。しかしそういった面での心配は全く必要ないと私は思います。確かに、英語が話せるか話せないかで APU での生活は全く変わってきます。しかし、その不安を理由に APU で英語を学びたいという気持ちを無くしてしまうことほどもったないことはありません。私が APU に来る際に必要だと思うものは、明確な目標とそれを本気で成し遂げたいという気持ちです。だから、少しでも APU での学びに興味があるという人はチャレンジしてみるべきだと思います。そういった人にチャンスがたくさんある大学だと私は感じています。

私は進路を考える際、様々な先輩や先生の話の聞いたりしてきました。自分が成し遂げたい目標に対して APU は本当に正しい選択なのか、APU での細かい生活はどんななのか、などをしつこいくらい聞いて、自分で考え、決断しました。私は進路を決める時や、自分のレベルアップのためのその方法など、自分より少し長く生きていて、経験のある先輩を『使う』ことをお勧めします。使う、とは少し言い方が悪いようですが本当に、先輩を使って情報を得ることや、自分のレベルアップにつなげていくべきだと思います。APU には考え方や姿勢が素晴らしく、頼れる先輩が多いです。是非、私も含めて先輩を使って、進路選択について参考にしてください。

## APU に来て感じたこと APU1 回生 久留間加唯

私が APU に来てもうすぐ二か月になります。まだたったの二か月ですが、初めの時期だからこそ新鮮で今まで体験、考えもしなかったことを感じさせられます。私が APU に行こうと思ったのには、将来の夢がかかわっています。夢といっても具体的なものではなく、海外で働きたいという漠然としたものです。どんな職種とか、どこの国とかは全く決まっていません。初めは、そのために英語さえ話せたらいいだろうと思っていました。もちろん英語を話せることは必要不可欠ですが、それだけでは海外で就職できないし、ほかの能力も必要になってくると思うようになりました。そこで、日本語ではなく英語を土台として何かを身に付けられるチャンスが多い APU に行こうと思いました。

では、実際に来て観て何を感じたか。大きく分けて三つの側面があります。一つ目は自分の弱みについて。皆さんも APU にはたくさんの留学生がいることは知っていると思います。約半分が日本人ではありません。そこで普段以上にコミュニケーション力が大切になってくるわけですが、まずそこで自分のコミュニケーション力のなさを改めて痛感しました。もともと人見知りでしゃべるのが得意ではないとわかっていたけれど、ここまでないのか？と思って落ち込むくらいです。それに加えて発言力のなさも痛感しました。大講義室での授業中、高校の教室の何倍もの広さのある教室で自分から意見を言う生徒がたくさんいます。もちろんそういった自分の意見をきちんと主張できる生徒はプレゼンテーションも上手だし、コミュニケーション力もあります。そういう人と、今の自分みたいに発言力はないしコミュニケーション力もない人とでどちらが将来社会で活躍できるかというとな、もちろん前者の人達だと思います。大学に入ると、卒業後の就職が身近になるために今までよりも強く「こ

のまま社会に出ても大丈夫か？」というのを考えるようになりました。それで危機感を覚えて、少しでも発言力が上がるようにちょっとずつでも手を上げるようにしています。早く、大講義室で英語で発言できるくらいになればいけないと思って頑張っています。もう一つコミュニケーション力が原因で困っていることが、日本人でかたまってしまうことです。英語でのコミュニケーションが難しいからどうしても日本人と一緒にいることが多くなっています。英語を話せるようになりたい人にはそれは致命傷で、APUにきた意味がなくなります。日本人としかかまえないなら、立命館大学といっしょになるから。外国人とがんばって話すことで、英語は身につくし、知らなかったことをたくさん知ることができます。

二つ目はAPハウスについてです。APハウスというのは主に一回生が国際学生と寝食を共にする宿泊施設です。日本人以外と一緒に住むわけですからいっぱい面白いことがあります。パーティー好きなインドネシア人とかは、真夜中に騒いでイライラさせるし、意味わからないほどの辛さのラーメンを食べていたり、朝っぱらから大声でオペラを歌っている韓国人、いつ風呂に入っているのか分からないような人もいます。宗教上で食べられないものがある人たちを身近に見ることができます。付属校の生徒は基本的に絶対APハウスには入れることになっているのでAPUに入学するうえで大きなメリットになります。英語を勉強していると教えてもらえたり、逆に国際学生の日本語の勉強を教えたりしてコミュニケーションをとる機会がより多くなります。とにかく、面白いことがいっぱいあります。このAPハウスがAPUの醍醐味の一つでもあります。

最後の三つめは授業についてです。APUの授業は英語の授業が多いです。そして毎日宿題が出て量も多いです。提出物に弱い人にはもってこいです。私も高校時代提出物はほとんど出さなくて留年になりかけた時もありました。APUではレポートなどの提出物のない日はほとんどありません。初めは苦痛で仕方なかったのですが、今ではしっかり出せるようになっていきます。先生の言うことをしっかり聞いてメモを取るなどして管理能力が上がるからです。また言語の授業は英語だけでなく、韓国語、中国語、インドネシア語など日本周辺の国の言語とスペイン語があります。立命館大学はドイツ語やフランス語など人気の言語の授業がありますが、それらの第二言語を使う機会は少ないと思います。APUでは授業で習った言語を母国語としている学生がたくさんいるので、彼らと話して使ってみることで身に着けることができます。このように英語だけでなく第二言語も身に着けるための機会が多いのもAPUの魅力です。

以上のように色々とAPUに来て私が感じたことや特徴を挙げてきましたが、結局は自分で来て、肌で感じるのが一番いいと思います。私も来てみて初めて分かったこともたくさんあります。まずはオープンキャンパスに行ってみて、すぐ近くに肌の黒い人や白い人、日本語や英語以外の言葉が聞こえる面白味を感じてみてください。感じ方は人それぞれ違うと思いますが、一度来てみる価値はあります。もちろん立命館大学には立命館大学のいいところもあると思うし、学力や専門性でいうとAPUのほうが低いかもしれません。でも、その分将来の選択肢や行動範囲、視野は広がるのはAPUです。海外に興味のある人、勉強としての英語だけではなくコミュニケーションとしての英語に興味のある人、ちょっと自分を変えてみたいなーという人たちにはAPUはいい場所です。少しでも興味を持ってくれた人は一度オープンキャンパスに来てみてください。そして、わからないこと、気になることがあったらいつでも質問してください。これが少しでも進路の参考になればうれしいです。

### ●卒業生のレポートを読んで

ここ数年で野球部の選手からAPUに進学するものが増えてきています。今年入学した2人は国際的なことに興味があることさえ私が知らずに進路を決めてきたので大変驚きました。このレポートからわかるように、この2人でも動機やAPUに対する期待は違うようです。ただ共通することは、自分から動いて獲得しないと何も得ることはできないということがこの短期間に感じたことです。私の拙い海外経験で現地の日本の方に聞いたことですが、海外では自分の意見をはっきり述べないといけないということ。ほしいものが出てくるまで待っては、いつまで経っても出てこない。如何に主体的に動かないといけないかということが身をもってわかった経験もあります。そういう実際には肌感覚でしかわからないような経験が日本に居ながらにして経験することができる。こう

いうところにAPUの魅力があるのではないかと感じました。卒業生が短期間でも成長した様子を見て、この選択に感激しています。

●実際にAPUに行って感じたこと

- 1, 大分の別府は京都からは電車だと4時間以上かかる (LCCなら少し早い)
- 2, 温泉街なので温泉が豊富。駅前に温泉がある。APUは山の上にあるので眺めが抜群。
- 3, APハウスは大学の構内にあるので生活はすべて大学構内で済む。(家賃4万9千円)
- 4, 建物は日本の現代建築だが国際学生が多いので雰囲気は日本とかけ離れている。
5. 国内学生も国際学生も学びに対して大変意欲的。
6. 学生の就職やビジネスに対する意識が高い。(企業が評価することに納得)
7. 大学がさらに進化しようとして常にチャレンジしていることが伝わってくる。

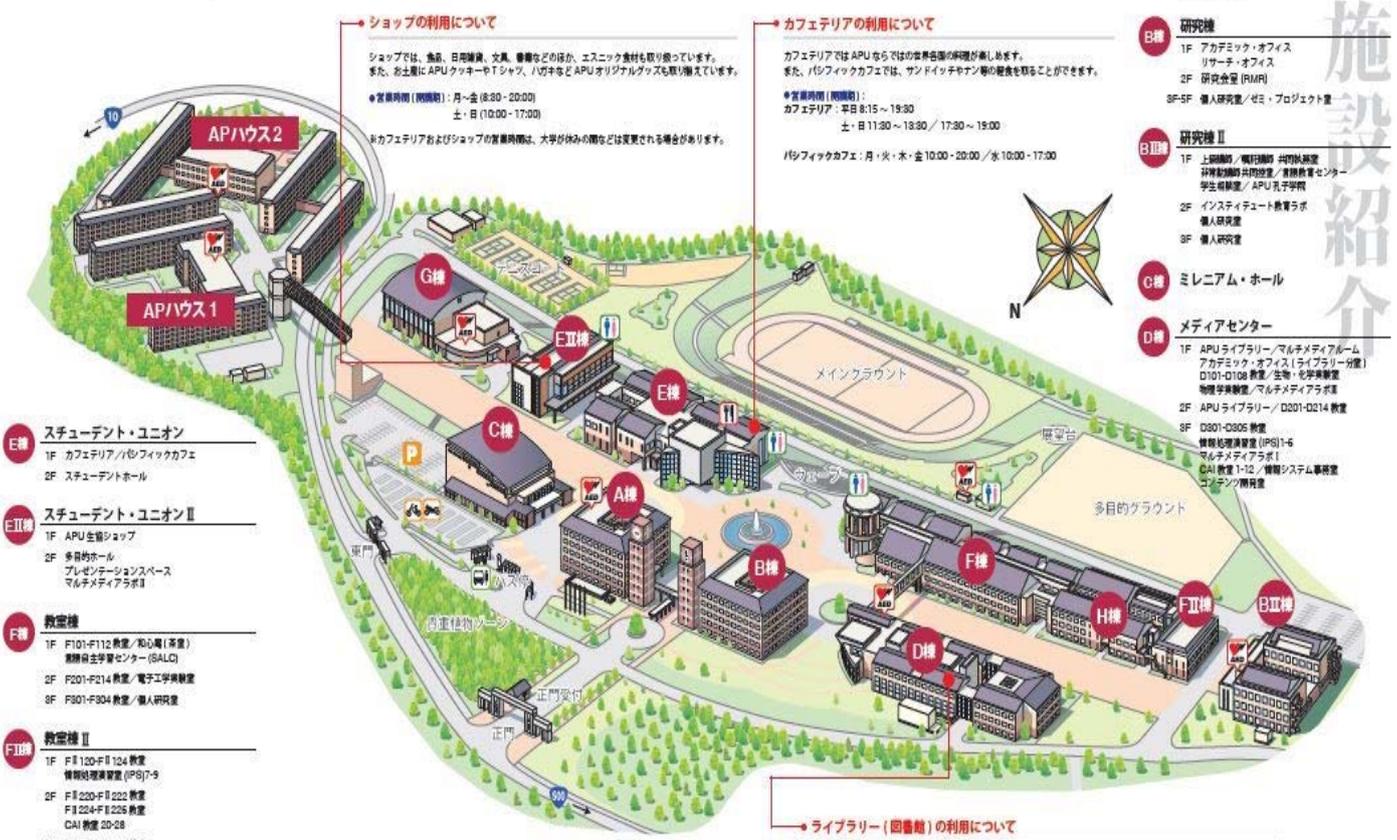
→学びたい意欲のある人間からすると最高の場所だと感じた。中途半端ではなく思い切って環境を変えるために飛び込みたいと思う学生に向いている。



こんなときはこの番号へ

キャンパス見学について TEL: 0977-78-1315	入試試験について TEL: 0977-78-1120	ライブラリーの利用について TEL: 0977-78-1140	APU 講座の受講について TEL: 0977-78-1105	カフェテリアの利用について TEL: 0977-78-1173
----------------------------------	-------------------------------	------------------------------------	------------------------------------	------------------------------------

- A棟 本部棟**
- 1F スチューデント・オフィス  
キャリアオフィス/ヘルスクリニック  
中央監査室/株式会社フレオテック
  - 2F アドミニストレーション・オフィス/校友会事務局  
アドミニストレーション・オフィス  
コンベンションホール
  - 3F 会議室
  - 4F 学務室(広聴/事務+補)/父母/社会連携/秘書  
税務室
  - 5F 特別研究室
- B棟 研究棟**
- 1F アカデミック・オフィス  
リサーチ・オフィス
  - 2F 研究室 (RMR)
  - 3F-5F 個人研究室/ゼミ・プロジェクト室
- B10棟 研究棟 II**
- 1F 上級編入/編入試験 共同体験講座  
新卒者就職ガイダンス/資格教育センター  
学生創業者/APU 孔子学院
  - 2F インスティテュート教育ラボ  
個人研究室
  - 3F 個人研究室
- C棟 ミレニアム・ホール**
- D棟 メディアセンター**
- 1F APU ライブラリー/マルチメディアルーム  
アカデミック・オフィス (ライブラリー分庫)  
D201-D210 教室/空室/学生学業  
情報学実験室/マルチメディアラボ
  - 2F APU ライブラリー/D201-D214 教室
  - 3F D301-D305 教室  
情報処理実習室 (IP6)1-6  
マルチメディアラボ I  
CAI 教室 1-12/情報システム事務室  
コンベンションホール



- E棟 スチューデント・ユニオン**
- 1F カフェテリア/リベリティーカフェ
  - 2F スチューデントホール
- E10棟 スチューデント・ユニオン II**
- 1F APU 全館ショップ
  - 2F 多目的ホール  
プレゼンテーションスペース  
マルチメディアラボ I
- F棟 教室棟**
- 1F F101-F112 教室/和心庵(茶室)  
国際総合学習センター (ISALC)
  - 2F F201-F214 教室/電子工学実験室
  - 3F F301-F304 教室/個人研究室
- F10棟 教室棟 II**
- 1F F1120-F1124 教室  
情報処理実習室 (IP6)7-9
  - 2F F1220-F1222 教室  
F1224-F1225 教室  
CAI 教室 20-28
  - 3F F1302-F1331 教室
- G棟 体育館**
- APハウス 1 APハウス 2**
- H棟 大学院棟**
- 1F H101-H102 教室
  - 2F H201-H202 教室
  - 3F 個人研究室

**AED (自動体外式除動器) 設置場所**

APU では、突然の心臓停止から命を救うために AED を設置しています。どなたでもご利用可能ですので、救急車が到着するまで AED を活用してください。

**ライブラリー (図書棟) の利用について**

書庫はもちろん、世界各国・地域の書籍や雑誌などを所蔵しており、どなたでもご借りたいいただけます。また、次の方は、ライブラリーカードの発行申請をさせていただくことで以下のサービスの利用が可能となります。

- 対象: 大分県内在住もしくは、大分県内の企業や学校へ通勤、通学する満 18 歳以上の方  
大分県内の高等学校に在学している方
- 対象サービス: 図書の見直し、複写、館外貸出(館内利用の資料を除く)、DVD・ビデオの視聴
- 開館時間: 授業日 8:30 ~ 24:00  
※全学学生および教職員以外の方は、授業日の 21:15 以降は入館できません。
- 休館日について: [http://www.apu.ac.jp/media/modules/library/info/?content\\_id=4](http://www.apu.ac.jp/media/modules/library/info/?content_id=4)
- ライブラリー開帳方法、利用方法について: [http://www.apu.ac.jp/media/modules/library/services/?content\\_id=5](http://www.apu.ac.jp/media/modules/library/services/?content_id=5)

主な施設紹介

# APU通信

立命館宇治中学校・高等学校

木下 裕介

H26 5月 7日(木)

NO.1

## ★立命館アジア太平洋大学とは★

立命館アジア太平洋大学へ行ってきました。高校時代クラスメイトがAPUへ進学しました。名前は知っていたけど、どんな大学かは知らず、なぜわざわざ遠いところへ行ってしまったのだろう。とっていました。実際に行ってみて、初めてAPUの魅力を感じることができました。

簡単に紹介します。

80カ国の学生が集まり、学生の半分が国際学生。学生寮には、7割の国際学生。まさに「小さな世界」世界39カ国・地域の110校から留学先を選択授業の9割が英語と日本語で開講

日本にいながら世界の人々と共に学ぶことができる。



## ★学生から学んだこと

何人かの学生にインタビューを行いました。あなたの夢は何ですか？またなぜこの大学を選んだのですか？その結果、多くの学生が明確な夢を持ち、その夢を実現するために、今は「～～に力を入れて勉強している」と語ってくれました。ただ漠然と努力するだけでなく、1年後、3年後、5年後、10年後のビジョンを持って、日々の学習に取り組んでいました。また、大学を選んだ理由では、全員が「この環境は他にはない」と自信を持って言いきっていました。



今、もっとも企業が注目する大学。立命館アジア太平洋大学。

「APU」

その背景には、共に学びあい、支えあい、助け合い、刺激あう仲間と共に、夢に向かって新しいことに挑戦していくそんな学生たちの姿がありました。新たな一歩を踏み出すことが、自分の可能性を引き出し、新しい自分に出会うことができる。そんな場所がそこにはありました。



APハウスの寮では、国際学生とシェアすることができます。当日も、シェアメイトに日本語を教えている様子や、一緒に料理を食べている学生など、日々のコミュニケーションを共にすることで自分自身を高めていくことができます。食堂のメニューも日本のメニューだけでなく、多国籍メニューがたくさんありました。

言葉の違い、文化の違い、考え方の違いに遭遇し、  
また新しい自分と出会うことができる。